



平成28年度

舞鶴市社会福祉協議会事業報告



社会福祉法人舞鶴市社会福祉協議会

全国的に少子・高齢化の急速な進行による単身世帯や核家族化など少人数世帯が増加しており、この傾向は舞鶴市においても同様の状況となっています。地域においては、コミュニティの希薄化が進み、支援を要する方の見守りを進め、孤立を防止することが重要となっています。

このような中、平成28年度から「地域を知り 地域で考え 地域みんながつながり ともに活躍するまちを目指して」を基本理念とした第2次地域福祉活動計画を策定し、この計画に沿って、関係機関、団体の皆様のご協力を得て、事業を展開してまいりました。次頁からはこの計画の6本柱に沿って、事業報告しております。

平成29年度から舞鶴市から委託を受けることとなり、職員1名の増員と退職職員の補充のため、3名の職員採用試験を実施しました。

特に、地域で支援が必要な方を見守り、支えあう仕組みを構築していくため、「地域支えあいサポーター」の活動支援並びに養成を進めてまいりました。

また、4月に発生した熊本地震の復興支援においては、災害ボランティアセンターとして、ボランティアバスを運行するとともに義援金を募るなど支援活動に取り組みました。

12月には、民生児童委員の一斉改選が行われ、舞鶴市においても多数の民生児童委員の方々の交代があり、社会福祉協議会の説明と関係の深い事業内容について各民生児童委員協議会の定例会に参加し説明とお願いをしたところであります。

社会福祉法人改革については、定款をはじめ、関係規程の改正を行い、整理しました。

また、財政状況が非常に厳しさを増してきている中、平成28年度におきましても、前期末支払資金残高を大幅に充当したところであります。舞鶴市社会福祉協議会といたしましては、引き続き自主財源の確保や、事業の見直し・廃止等を適時進め、引き続き経営環境の改善に努めてまいります。

以上を平成 28 年度の基本方針とし、地域住民、関係機関・団体等
より一層のお力添えを賜りながら、事業の推進を図ってまいります。

基本目標 1

地域コミュニティの再構築

「つながる活動」

1. 地域自治推進事業

地域住民や関係諸団体と連携し、地域活動の基盤となる地域の課題解決力や支えあう力の向上を図るため、様々な支援を行いました。

(1) 地域自治活動への支援

四所地域で開催されている地域懇談会へ参加。地域それぞれの立場で把握している課題を共有し、課題解決に向け懇談

- ・ 8月31日 喜多公民館 参加者 24名
- ・ 四所地域の民生児童委員、自治会長、城北地域包括支援センター、市福祉企画課、市高齢者支援課、社会福祉協議会

(2) 赤い羽根共同募金配分金公募助成事業

自治会やボランティアグループ、地域の福祉団体等が実施する地域福祉活動を公募し、審査のうえ助成

- ・ 4団体
- ☆事業費 90,523円（共同募金配分金）

2. 地域住民がつながる活動の支援

地域の団体が主体となり企画・実施する、地域住民がつながる活動に対して、協力・支援を行いました。

(1) 地域福祉活動を行う団体等への事業費助成

民生児童委員協議会、自治連区長連協議会、南福祉協議会が実施する地域福祉の推進を目的とした事業に助成

- ・ 3団体
- ☆事業費 330,000円（共同募金配分金）

(2) ホタルの夕べ・交歓会の実施（実行委員会との共催）

東大浦地区旧原小学校区内の各団体で組織された実行委員会との共催で、地域住民と児童養護施設舞鶴双葉寮の児童との交流事業を実施

- ・ 6月11日 河辺原公民館 参加者 69名
- ☆事業費 10,000円（共同募金配分金）

(3) 「第34回身体障害者・児と家族の集い」(南福祉協議会主催)への協力と
事業費助成

地域で生活する障がい者(児)とその家族の交流会を実施

・8月28日 南公民館 参加者 72名

☆事業費 70,000円(共同募金配分金)

3. 協働事業の展開

民生児童委員協議会やボランティアグループと共に、地域の方々とのつながりを深め、見守りをはじめとした孤立防止活動を展開しました。

(1) 民生児童委員協議会との協働事業(P19~21)

民生児童委員協議会と共催で高齢者や障がい者、子育て世帯を対象とした集いや友愛訪問活動等を実施

・13民児協 64事業

☆事業費 1,086,894円(共同募金配分金)

(2) ボランティアグループとの協働事業(P22)

ボランティアグループと共催で障がい者等を対象とした集いなどを実施

・4グループ 5事業

☆事業費 83,571円(共同募金配分金)

基本目標 2

地域福祉の質の向上 「居場所づくり・仕組みづくり」

1. サロン活動支援

地域サロンを地域の支援を必要とする方の拠点と位置付け、サロンをきっかけに戸別訪問などの見守り活動が広がっていくよう、立ち上げや運営支援を行うとともに、活動者への研修会・交流会を行いました。

(1) ふれあいいきいきサロンの立ち上げ支援

- ・立ち上げ相談支援 1件

(2) ふれあいいきいきサロン活動助成

障がい者や子育て世代を対象としたサロンへ会場費や運営費を助成

- ・4件（障がい1件、子育て3件）
- ☆事業費 97,376円（ふれあいのまちづくり事業）

(3) ふれあいいきいきサロン活動支援

① 相談支援

- ・8団体25回
- ・情報提供、備品貸し出し、ボランティア等の調整

② 地域ふれあいサロン活動者研修の実施

- ・3月4日 滋賀県高島市 参加者 25名
- ・「地域まるごと支え合いフォーラム」（高島市社協主催）へ参加
- ☆事業費 140,868円（ふれあいのまちづくり事業）

2. 地域の見守り活動

在宅のひとり暮らし高齢者等の支援を要する方の見守り、孤立防止の活動の支援を行いました。

(1) 訪問見守りボランティア強化学業（府社協助成事業）

ひとり暮らし高齢者等の要支援者宅への友愛訪問、見守り活動、電話による安否確認実施団体への活動費等の助成

- ・33団体
- ☆事業費 757,000円（法人運営事業）

(2) お話しボランティアによる要支援者宅訪問活動

在宅の支援を要する方を定期的に訪問し、傾聴活動を実施

- ・登録者数 9名
- ・活動者数 6名
- ・訪問世帯数 3世帯、2施設

3. 舞鶴災害ボランティアセンターの活動

常設型の災害ボランティアセンターとして、熊本地震の復興支援活動や災害ボランティアに関する研修への参加・協力を行いました。

☆事業費 84,737円（共同募金配分金）

(1) 災害ボランティアセンター関係者会議

熊本地震災害復興支援について協議

- ・開催回数 5回

(2) 研修会等への参加・協力

- ① 京都府災害ボランティアセンター総会（6/25）
- ② 災害ボランティアセンター全体研修会（6/25）
- ③ 第2回市町村社協災害ボランティア担当者会議（7/5）
- ④ 2016年度防災セミナー「我々になにができる？もしもじゃないよ、いっつもだよ」（9/19）
- ⑤ 福祉避難所サポートリーダー養成研修（10/4）
- ⑥ 京都府災害ボランティアセンタースタッフ部門別研修会（12/6）
- ⑦ 防災キャンプ2016in京都（71名）に講師として協力（7/30）
- ⑧ 岐阜県輪之内町災害ボランティアコーディネーター連絡会視察研修受け入れ（9/16 17名）

(3) 広報活動

- ① 災害ボランティアセンターメール配信サービス
熊本地震災害復興支援の他、今後の大規模災害への支援を迅速に行えるよう、メール配信サービスへの登録を呼び掛け
・登録者数 約300名
- ② 舞鶴災害ボランティアセンターfaceBookの開設

(4) 平成28年熊本地震災害復興支援活動

- ① 熊本地震災害支援ボランティアバスの運行
 - ・日程 6月3日～6日
 - ・行先 熊本県御船町災害ボランティアセンター
 - ・参加者 16名
- ② 熊本地震災害支援物資の取り次ぎ

「すみよい環境をつくる会」より物資提供の申し出があり、ボランティアバス運行で縁のあった御船町へ取り次ぎ

- ・ 寄付額 50万円
- ・ 寄付先 御船町災害ボランティアセンター
- ・ 使 途 仮設住宅集会所11か所にテレビ寄贈

4. 広報・情報発信事業

社会福祉協議会の関連事業を広報紙やホームページにより発信しました。

(1) 広報紙「まいづるのふくし」の発行

年4回延べ24,000部発行、自治会回覧や民生児童委員、関係機関に配付
☆事業費 439,157円（共同募金配分金）

(2) ホームページの活用

年間総アクセス数 8,545件

(3) 報道機関への情報提供

民生児童委員やボランティア団体との協働事業をはじめ、本会の各種事業の情報提供

5. スポーツ・レクリエーション活動等への協力・支援

障がい者団体等が運動の機会づくりと交流を目的に開催する催しを支援するとともにボランティアの運営協力について調整をしました。

(1) 第31回「舞鶴市身体障害者交流運動会」（身体障害者団体連合会主催）

ボランティアセンター登録グループが運営に協力(79名)

・ 6月26日 文化公園体育館 参加者 248名

☆事業費 70,000円（共同募金配分金）

(2) 第42回「福祉スポーツの集い」（実行委員会主催）

ボランティアセンター登録グループが運営に協力(52名)

・ 10月13日 文化公園体育館 参加者 180名

☆事業費 30,000円（共同募金配分金）

(3) 第35回「舞鶴市ふれあいレクリエーション」（実行委員会主催）

ボランティアセンター登録グループが運営に協力(13名)

・ 11月16日 東体育館

基本目標 3

地域における福祉人材の育成

「人づくり」

1. 地域支えあいサポーター活動の展開

地域支えあいサポーターの活動展開について検討しました。地域の見守りの必要性を広く訴えるとともに、養成講座の開催やフォローアップ講座を開催しました。

(1) 「みんなにやさしい地域づくりセミナー」の開催（地域支えあいサポーター養成講座）

- ・2月19日 市政記念館 参加者 32名
 - ・内容 講義「地域で支えあう力がアップする対人援助技術」(入門編)
講師 華頂短期大学介護学科 教授 武田 康晴 氏
 - ・サポーター新規登録者 5名
- ☆事業費 112,832円（ふれあいのまちづくり事業）

(2) 地域支えあいサポーターフォローアップ講座

- ・2月19日 市政記念館 参加者 28名
 - ・内容 講演・演習「対人援助技術」（実践編）
講師 華頂短期大学介護学科 教授 武田 康晴 氏
- ☆事業費 上記（1）と同日開催につき合算計上

(3) 地域支え合いサポーター研修交流会の実施(再掲)

- ・3月4日 滋賀県高島市 参加者 25名
- ・「地域まるごと支え合いフォーラム」（高島市社協主催）へ参加

2. 青少年に対する福祉学習の機会づくり

児童・生徒の福祉への関心を高めることを目的に小・中学生、高校生を対象とした社会福祉体験や福祉教育助成事業を実施しました。

(1) 社会福祉体験学習の実施

中学生には施設利用者との交流、施設職員の仕事、ボランティア活動への理解を深めることを、高校生には福祉職への関心を高めることを目的に開催

- ・8施設（高齢者施設6、障害者施設2）
 - ・参加者 中学生 13名、高校生 10名
- ☆事業費 51,762円（ふれあいのまちづくり事業）

(2) 福祉教育推進校助成事業を実施 (P23)

市内の小・中学校で行われる福祉教育活動に助成

・助成校 8 小学校、3 中学校 (17 事業)

☆事業費 268,201 円 (共同募金配分金)

(3) 次世代の担い手育成事業への協力(きょうと介護・福祉ジョブネット主催)

小・中学校の総合的な学習の時間等を活用し実施される、福祉の現場や福祉職について理解を深めることを目的とした事業に協力

・実施校 倉梯第二小学校 4年生2クラス 真愛の家寿荘
和田中学校 1年生2クラス アザレア舞鶴

(4) 京都府北部福祉人材確保定着プロジェクトフィールドワーク事業の受け入れ

京都光華女子大学の研修を受け入れ、地域福祉についての講義やサロン活動現場実習、「さくらんぼ園」見学と体験などを実施

・9月5日～7日 7名

3. 福祉に対する理解を深める活動

地域住民に対し、福祉への理解を深める機会を作るとともに関連事業への支援を行いました。

(1) 福祉施設と地域との交流事業への助成

社会福祉施設が、地域住民を交え実施する事業に対する助成

・8 施設 (高齢者施設 5、障害者施設 3)

☆事業費 241,184 円 (共同募金配分金)

(2) 第 34 回「障害者ふれあい行動デー」への協力

12 月 3 日から 9 日の障害者週間の啓発事業への協力

① 集会の開催

障害者施設利用者や障害者団体会員のステージ発表、高齢者施設長の講演会を実施

・12月6日 中総合会館 183名

② 啓発活動の実施

チラシ配布や横断幕・のぼりの掲出、施設・団体等のパネル展示

☆事業費 44,078 円 (共同募金配分金)

(3) 「舞鶴市社会福祉大会」の開催 (市と共催)

・1月28日 市政記念館 170名

・市長表彰 (44個人、2団体)

・会長表彰 (42個人、4団体)

・ 認知症啓発講演会

☆事業費 132,108 円（共同募金配分金）

（４）京都府社会福祉大会への参加

・ 9月2日 京都テルサ 参加者 9名

・ 知事表彰（10個人、1団体）

・ 府社会福祉協議会長表彰（8個人、1団体）

・ 京都府共同募金会長表彰（2個人、11団体）

・ 共同募金開始70回記念特別感謝（36団体）

☆事業費 109,560 円（共同募金配分金）

基本目標 4

ボランティア・市民活動の活性化

「ボランティアセンターの充実」

1. ボランティアセンターの状況

ボランティア活動の推進や活性化のため、助成金の交付や活動資材の貸し出しなど活動支援を行いました。

(1) センター登録状況

- ・個人 11名（27年度 12名）
- ・団体 76団体（27年度 84団体）
- ・登録者数 1,229名（27年度 1,074名）

(2) ボランティア活動の支援

① ボランティア活動助成金を交付

- ・35グループ

☆助成額 949,078円（ふれあいのまちづくり事業・ボランティア基金）

② 活動機材等の貸出

- ・プロジェクター 13件
- ・スクリーン 5件
- ・スピーカー 8件
- ・レクリエーション機材 52件

☆貸出料収入 11,400円（10月1日から有料化）

2. ボランティアセンター事業実施状況

舞鶴市社会福祉協議会が設置するボランティアセンターに運営委員会を設け、センター登録グループが中心となり、各種事業を展開しました。

(1) センター運営委員会、各部会の開催状況

- ・運営委員会 6回
- ・部会（調査・広報部会 5回、交流部会 6回、研修部会 6回）

(2) ボランティアセンターが集めた布を福祉施設に提供

入所施設へ清拭用の布を集め、施設に提供

- ・提供先 市内8施設
- ・集まった点数 5月：1184点、10月：858点

- ・協力団体・個人 5月：27人、10月：22人

(3) 第27回ふれあいバザーの開催

ボランティア同士の交流と活動資金の確保を目的に開催

- ・9月4日 中総合会館
- ・協力ボランティア 延べ114名
- ・協力物品 1,200点
- ・売上総額 293,775円
- ☆純利益 216,258円（ボランティア基金へ繰り入れ）

(4) ボランティアセンターだよりの発行

- ・年3回発行 延べ6,000部
- ☆事業費 110,066円（ふれあいのまちづくり事業）

(5) 他市のボランティアとの交流研修

他市ボランティアセンターの視察研修を受け入れ、交流・意見交換を実施

- ・敦賀市 11月24日 受入25名 参加28名
- ・亀岡市 12月5日 受入20名 参加13名
- ・福知山市 2月20日 受入20名 参加12名

3. ボランティア講座・研修の実施

ボランティア実践者の研修会を開催するとともに新たなボランティア活動者を増やすための講座を行いました。

(1) ボランティア活動フォーラムの開催

ボランティアセンターに登録しているボランティア同士が交流し、課題を共有し、解決に向けた思考術を学習

- ・8月6日 中総合会館 参加者 40名
- ・内容 講演「『困った』を『やろう！』に変える思考術」
講師 福知山公立大学 地域経営学部 助教 佐藤 充 氏
ボランティアグループ意見交換
- ☆事業費 50,720円（ボランティア基金）

(2) ボランティア活動をすすめる集い

新たにボランティア活動に参加する方を増やすために開催

- ・12月10日 中総合会館 参加者 66名
- ・テーマ「Xを見つけよう～自分探し・生きがいつながり・出会い～」
- ・内容 講演「みんなのXを活かしたまちづくり
～使命多様性あふれる舞鶴を目指して～」

講師 半農半X研究所 代表 塩見 直紀 氏

実践発表・トークセッション

まいづるアロマきつず、KOKIN、NPO法人里山ねっと・あやべ

☆事業費 104,294 円（ふれあいのまちづくり事業）

（3）障害児者地域生活サポートボランティア養成講座（舞鶴支援学校主催）

養成講座のカリキュラムの一部に講師として協力

- ・7月26日 中総合会館 高校生参加 26名
- ・演題「ボランティア活動を始めるにあたって」

基本目標 5

地域を支える活動の展開

「直接支援」

1. 福祉サービス利用援助事業の実施状況

在宅の認知症、精神・知的障がい等の方の日常的な金銭管理等を支援

☆利用料収入 2,525,300 円(福祉サービス利用援助事業)

(1) 契約件数

・認知症	29件	(27年度 25件)
・精神障がい	12件	(27年度 16件)
・知的障がい	19件	(27年度 10件)
・その他	1件	(27年度 1件)
合 計	61件	(27年度 52件)

(2) 事業実施状況

・新規契約件数	15件	(27年度 8件)
・解約件数	6件	(27年度 1件)
・ケース会議開催数	55回	(27年度 73回)
・相談・連絡調整件数	5,892件	(27年度 25件)

(3) 生活支援員の登録状況

・生活支援員登録者数	33名	(男5名、女28名)
・生活支援員雇用者数	27名	(男3名、女24名)

2. 成年後見制度に関する取り組み

法人後見について学習する機会を設けるとともに市から要請のあった成年後見支援センター開設について準備を進めました。

(1) 成年後見制度勉強会の開催（社会福祉協議会理事対象）

- ・5月31日 参加者 20名
- ・講義「成年後見制度と京都府社会福祉協議会がすすめる法人後見の取り組みについて」

講師 きょうと高齢者・障害者生活支援センター主任 岸佑太氏

(2) 舞鶴市成年後見支援センター開設準備会の開催（市と共催）

- ・2月23日 参加者14名(弁護士、司法書士等専門職)
- ・内容 舞鶴市成年後見支援センター開設について

3. 舞鶴子ども発達支援施設さくらんぼ園の運営

一人ひとりに児童支援利用計画を作成し、最適な内容を協議・検討し療育に取り組むとともに、保護者の相談支援についても丁寧に取り組みました。

☆事業収入 29,041,373円(児童発達支援事業)

(1) 取り組み内容

- ・子どもへのマンツーマンによる療育(週1回 半日通園を基本)
- ・保護者支援(母親教室年5週、学習会年2回、先輩保護者との交流会年2回、個人懇談年2回)
- ・相談支援事業 「児童支援利用計画」の作成とモニタリング
- ・並行通園先幼稚園・保育所との連携(公開療育、訪問、見学受け入れ等)
- ・就学先学校との連携(就学前・後連絡会、保護者の学校見学)

(2) 利用状況

① 児童発達支援事業利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人員	63	63	63	62	62	62	66	74	75	74	74	74	812
延べ回数	160	195	240	195	180	186	228	248	207	231	253	229	2,552
(27年度)	150	188	217	223	163	211	243	250	237	238	251	215	2,586

② 相談支援事業利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人員	23	13	13	14	9	11	17	16	18	15	16	12	177
(27年度)	26	7	13	20	14	10	39	11	13	26	15	16	210

4. ふれあい福祉センター心配ごと相談窓口の開設

常設相談窓口を開設し市民からの様々な相談に対応しました。

- ・開設日数 244日
- ・相談件数 100件

5. 生活福祉資金等貸付事業

生活困窮者を対象に京都府社会福祉協議会からの受託事業としての貸し付けならびに舞鶴市社会福祉協議会独自の貸付を行いました。

(1) 生活福祉資金貸付事業

資金の種類	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総合支援資金	6件	6件	4件	5件	0件
教育支援資金	8件	16件	23件	14件	19件
福祉資金	6件	7件	5件	7件	5件
緊急小口資金	30件	41件	15件	9件	6件

(2) 応急援護資金

資金の種類	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
応急援護資金	91件	102件	107件	113件	86件
金額(千円)	1,790	1,923	2,110	2,188	1,670

6. 介護保険等事業

365日型で高齢者ならびに障がい者への日常生活支援、身体介護のヘルパー派遣を行うとともにケアマネージャによる介護プランの作成を行いました。

(1) 訪問介護事業

訪問介護・介護予防サービス提供実績（各年度3月分実績）

年度	実績	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
28年度	人数	8	12	5	10	5	4	5	49
	訪問回数	44	80	38	94	209	108	157	730
27年度	人数	5	10	6	7	5	4	4	42
	訪問回数	24	64	76	65	119	207	193	748
26年度	人数	2	9	5	8	8	5	7	44
	訪問回数	13	67	38	115	147	164	293	837
25年度	人数	4	11	5	12	6	4	6	48
	訪問回数	16	78	47	155	152	100	207	755
24年度	人数	4	11	5	11	7	2	4	44
	訪問回数	31	77	92	131	223	34	130	718

☆事業収入 30,120,978円（訪問介護事業）

(2) 障害者居宅介護支援事業

居宅介護サービス（障害）提供実績（各年度3月分実績）

年度	実績	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
28年度	人数	1	3	8	3	1	6	22
	訪問回数	3	17	143	38	27	166	394
27年度	人数	2	3	8	5	1	6	25
	訪問回数	6	13	150	85	17	140	411
26年度	人数	3	5	6	4	1	8	27
	訪問回数	11	56	170	70	11	116	434
25年度	人数	2	4	9	2	0	6	23
	訪問回数	11	53	170	25	0	191	450
24年度	人数	1	3	7	0	0	7	19
	訪問回数	6	22	86	0	0	200	316

☆事業収入 20,464,840円（障害者居宅介護事業）

(3) 居宅介護支援事業

ケアプラン作成実績(各年度3月分実績)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
28年度	4	9	3	4	0	20
27年度	6	11	3	4	0	24
26年度	6	7	2	4	2	21
25年度	5	9	6	5	2	27
24年度	8	6	5	3	2	24

☆事業収入 3,075,060円(居宅介護支援)

7. 大人用紙おむつ割引券発行事業

大人用紙おむつを利用者で割引券を希望される方に、民生児童委員を通じて、舞鶴薬業会加盟店で使用できる割引券を配付

・利用者数 1,136人

・利用枚数 17,852枚

☆事業費 3,622,924円(共同募金配分金)

8. 介護機器等貸出事業

介護を要する方や福祉教育活動に介護機器等の貸し出しを行うとともに車イスのまま乗車できる福祉車両の貸し出しを行いました。

(1) 介護機器の貸し出し

・車椅子 73件

・吸引器 11件

・スロープ 1件

☆貸出料収入 18,200円(10月1日から有料化)

(2) 福祉車両の貸し出し

・利用件数 76件

・走行距離 1,962km

☆事業費 563,653円(共同募金配分金)

9. 当事者を支える活動

当事者団体や当事者支援団体の実施する事業に助成金を交付するとともに事業協力を行いました。

(1) 当事者団体等の活動支援

☆事業費 430,000円(共同募金配分金)

- ① ひとり親家庭こども学習塾開催協力（母子福祉会主催）
年間を通して毎日曜日に小・中学生対象の学習支援を実施
・実施回数 年53回
・参加者数 年延べ440名
- ② ひとり親家庭いきいきふれあいキャンプへの協力
京都府民生児童委員協議会主催の府内父子家庭を対象としたキャンプ
・7月30～31日 神崎児童センターまいまいハウス 参加者35名
- ③ 当事者団体等への助成
・5団体8事業

（2）当事者を支援する団体等への活動支援

☆事業費 371,638円（共同募金配分金）

- ① 民生児童委員活動の支援
貸与ジャンパーの更新 29着
- ② 第34回「少年の主張」大会開催協力（子育て支援協会主催）
審査の協力と会長賞の授与
・6月18日 総合文化会館 250名
- ③ 第66回社会を明るくする運動への助成・協力（保護司会主催）
・6月21日 市政記念館 130名
- ④ 東・西更生保護女性会の活動への事業助成
- ⑤ 不登校の教育施設（聖母の小さな学校）への事業助成

10. 福祉有償運送サービス

車イス利用者の通院等の移動支援をボランティアの協力により行いました。

- ・運転協力者 8名
- ・利用会員 16名
- ・利用件数 582件
- ・総走行距離 8,416 km
- ☆事業費 809,346円（福祉送迎サービス事業）

基本目標 6

総合的な組織基盤の整備

「財源確保と連携」

1. 法人運営

社会福祉法人改革に対応するため、定款をはじめ関係規程の改正を行うとともに適正な法人運営に努めました。

- ・ 正副会長会 4回(27年度 3回)
- ・ 理事会 5回(27年度 2回)
- ・ 評議員会 3回(27年度 2回)
- ・ 評議員選任・解任委員会 1回(28年度新設)

2. 安定的な財源の確保

市民に対し社会福祉協議会活動を理解いただき会費納入に協力いただくための広報活動を行うなど、自主財源の確保に努めました。

(1) 会費等の納入

・ 一般会費 (1世帯 200円)	5,492,000円 (27,460世帯)
・ 賛助会費 (1,000円以上)	2,591,000円 (2,310件)
・ 特別会費 (3,000円以上)	505,000円 (167件)
・ 団体会費 (福祉関係団体等)	90,000円 (6団体)
・ 施設会費 (社会福祉施設)	216,500円 (30施設)
・ 寄付 (市民からの寄附)	286,802円 (25件)
☆ 総 額	9,181,302円 (法人運営事業)

3. 赤い羽根共同募金、歳末友愛運動募金の状況

舞鶴市共同募金会事務局として、共同募金運動の推進に取り組みました。

(1) 赤い羽根共同募金

- ・ 実績額 10,569,109円
- ・ 目標額 10,450,000円
- ・ 達成率 101.1%
- ・ 街頭募金活動

JR東舞鶴駅周辺、舞鶴港とれとれセンター	10月1日
赤れんがフェスタ (共同募金運動70回記念事業)	10月22日・23日
まいてフェスタ会場(中総合会館)	11月6日

(2) 歳末友愛運動募金活動

- ・実績額 5,023,858 円
- ・目標額 5,100,000 円
- ・達成率 98.5%
- ・使途内訳

地域要援護者世帯への配分	48 世帯	500,000 円
在宅障がい児への配分	194 名	1,940,000 円
歳末にかかるボランティア活動支援	10 グループ	206,573 円
要介護者への紙おむつ割引券配付	1,140 名	1,413,000 円
障害者団体、施設利用者支援	6 団体・7 施設	620,000 円

(3) 義援金の受付

- ・熊本地震災害、新潟県糸魚川市大規模火災、岩手県台風 10 号豪雨災害
- ☆総 額 305,636 円

4. 関係機関・団体への協力

行政等の関係機関からの依頼にもとづき、関係会議に参加協力し連携を深めました。

- ・難病対策地域協議会（中丹東保健所）
- ・中丹圏域障害者自立支援協議会（中丹東保健所）
- ・認知症疾患医療連携協議会（舞鶴医療センター）
- ・舞鶴市長寿社会プラン推進会議（高齢者支援課）
- ・舞鶴市認知症医療連携実務担当者会議（高齢者支援課）
- ・舞鶴市障害者施策推進協議会（障害福祉・国民年金課）
- ・舞鶴市身体障害者福祉センター運営委員会（障害福祉・国民年金課）
- ・舞鶴市子ども・若者会議（子ども支援課）
- ・舞鶴市民生委員推薦会（福祉企画課）
- ・舞鶴犯罪被害者支援連絡協議会（舞鶴警察署）